

地域とともに、
おもしろいほうの未来へ。

au



株主通信 冬号 | 2022年

「すずめの戸締まり | au」の
詳しい情報はコチラ
<https://suzume.au.com/>



株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度は、ありたい未来社会に向けて策定した長期ビジョン「KDDI VISION 2030」の実現に向けた「新中期経営戦略(2022-24年度)」の初年度であり、中期目標達成のための基礎を築く重要な期間です。「サステナビリティ経営」を根幹に置くこの新戦略を、パートナーの皆さまと共に着実に実行し、社会課題の解決と企業価値向上の取り組みを加速していきます。

KDDI株式会社 代表取締役社長

高橋 誠

2022年度上期の主な取り組み

パーソナルセグメントでは、引き続きお客さまの生活動線を重視した5Gエリア化を進めるとともに、店頭やアプリ等のお客さま接点の磨き上げや付加価値提案により、お客さまとのエンゲージメント向上に取り組んでいます。7月に開始した「au Ponta ポータル」では、たまったポイント数や有効期限などを簡単に確認できるようになりました。普段お使いの「au PAY」アプリ等から簡単にアクセスでき、Pontaポイントをより快適にご活用いただけます。

そのほか金融事業においては「au PAY カード」の会員数が800万人を突破しました。同じauフィナンシャルグループのauじぶん銀行やauカブコム証券との連携や決済により、金利優遇等がおトクになる特典をご用意したことで、クロスユースが進んでいます。

ビジネスセグメントでは、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)の支援を強化するため、中間持株会社であるKDDI Digital Divergence Holdingsを設立しました。DX推進に必須となるケイパビリティ*1を持つ事業会社をグループに持ち、今後更にM&Aや業務提携などの実施も検討し、お客さま支援体制を強化してまいります。

また、三井物産株式会社と共同で、AI・人流分析で都市DXを推進する会社「GEOTRA」をスタートしました。AIやau位置情報を活用したサービスを、スマートシティ開発などに関わる事業者へ提供し、企画・政策に関する意思決定高度化への貢献を目指します。その他にも、DX関連の実証実験等に複数取り組んでおり、パートナーとの連携を通じた新たなビジネス創造を加速していきます。

*1 企業成長の原動力となる組織的能力や強み

■DX領域の成長を加速するDX推進に向けた体制構築



通信基盤の強靱化に向けて

2022年7月2日(土)に発生した通信障害では、当社の通信サービスをご利用の全国のお客さまに、多大なご不便とご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げます。社会インフラを支え、安定したサービスを提供しなければならない通信事業者として、本件を重く受け止めています。

通信障害発生後、通信ネットワークの見直しを徹底的に行い、ネットワーク品質向上のため、全社を挙げて抜本的な改革に取り組んでいます。さらにお客さま目線の情報開示・適時適切な情報をお届けする手法の拡充に取り組んでいます。今後、5G・Beyond 5G時代においてさらに増加する通信量への対応を万全にし、より一層、お客さまに安心して快適にご利用いただける通信ネットワークを提供してまいります。

【品質・サービス向上に向けた推進体制】

「通信ネットワークの安定化」と「お客さま目線の対応強化」を最優先課題とし、社内に組織横断的な体制を構築しました。



【通信基盤強化への取り組み】

- メンテナンス作業**
 - 作業手順書管理ルール・作業承認手法の見直し ▶ 2022年7月14日実施済
 - 作業リスク評価と作業抑制基準・期間の見直し ▶ 2022年7月22日実施済
- 大規模化**
 - VoLTE交換機の詳細な輻輳*2検知ツール開発 ▶ 2022年7月28日実施済
 - 輻輳制御の設計見直し(点検、計画策定) ▶ 2022年8月31日に点検完了
- 長期化**
 - 輻輳発生時の復旧手順の見直し ▶ 2022年7月11日実施済
 - VoLTE交換機の輻輳解消ツールの開発 ▶ 2022年8月24日運用開始済

*2 アクセス集中

【お客さま対応への取り組み】

- お客さま目線の情報開示・適時適切な情報提供手法拡充 ▶ 2022年9月30日実施済



連結売上高*3



連結営業利益*3



親会社の所有者に帰属する当期利益*3



1株当たり配当金



決算数値などの詳細はウェブサイトをご参照ください <https://www.kddi.com/corporate/ir/>

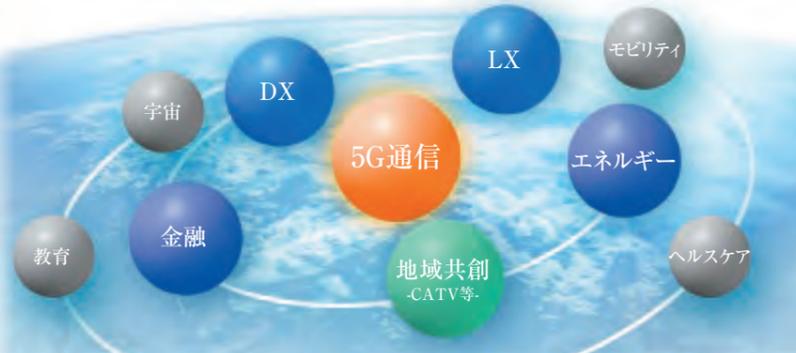


*3 IFRSを適用しています。また、億円未満を四捨五入して表示しています。

衛星グロース戦略が実現するイノベーション

衛星グロース戦略における5つの注力領域

2030年に向けたKDDIグループのありたい姿「KDDI VISION 2030:『つなぐチカラ』を進化させ、誰もが思いを実現できる社会をつくる。」を実現するため、この度の中期経営戦略(2022-24年度)では、事業戦略を「衛星グロース戦略」と位置付けました。KDDI VISION 2030で掲げている「つなぐチカラ」の中核をなす5G(通信)を中心に置き、5Gによる通信事業の進化と、通信を核とした5つの注力領域の拡大を図り、2030年を見据えて「5Gを中核に据えた事業変革」を推進していきます。



DX (デジタルトランスフォーメーション)

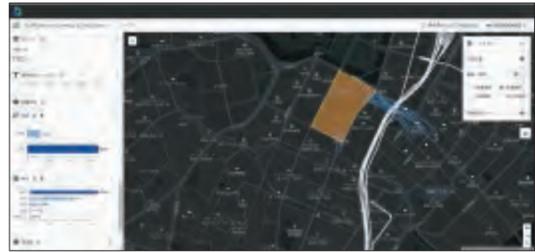
あらゆるものに通信が溶け込み、人々がさまざまな生活シーンで5Gを活用できる環境を整備します。その実現に向けて業界に精通したパートナーと共に、多様なニーズに応じたビジネスプラットフォームを提供し、お客さまのビジネス創造のサポートを通じて新たな付加価値を創出、人々の暮らしが革新されていくDXの好循環を目指しています。



GEOTRA
について



KDDIは三井物産株式会社と共に、都市DXを推進する会社「GEOTRA」を本年5月に設立しました。AIやau位置情報などのビックデータを活用して、人々の移動手段や時間、目的を把握・予測するプラットフォーム・分析サービス「GEOTRA 地理空間分析プラットフォーム」を提供し、スマートシティをはじめとする様々な社会課題解決を加速させていきます。



金融

auフィナンシャルホールディングスは2019年設立以来、決済・金融サービスをワンストップで提供する「スマートマネー構想」を推進しています。創業以来デジタル金融事業を生業としてきたauフィナンシャルグループ各社は、「通信×金融」の双方向シナジーの最大化と顧客エンゲージメント向上に加え、幅広い金融各社間のグループ連携を加速し、今後もスマホ・セントリックな次世代デジタル金融サービスを提供していきます。

au PAY、au PAY カード、auカブコム証券をauじぶん銀行と連携すると、円普通預金の金利が最大で年0.20% (税引後 年0.15%) となる「auまとめて金利優遇」を昨年9月に開始しました。今後もauフィナンシャルグループは、お客さまの期待を超える有益で多様な商品・サービスの提供に取り組んでいきます。

auまとめて金利優遇について



5Gの特性を活かすことで「つなぐチカラ」を進化させ、社会課題に応える“新たな価値”を生み出す「衛星グロース戦略」。その最新の実績を、話題のキーワードを起点にご紹介します。

エネルギー



au エネルギーホールディングス
について

2016年4月の電力小売全面自由化に伴い、電気サービス「auでんき」の提供を開始しました。今後、既存事業に加え、カーボンニュートラル(CN)関連事業も強化し、事業の成長を加速していきます。

エネルギー事業の強化を目的として、中間持株会社auエネルギーホールディングスを本年4月に設立しました。CNの実現に向けて今後エネルギー関連の事業環境変化が予測される中、変化へ迅速に対応し、お客さまのニーズに即した機動的なサービスの提供を目指します。



LX (ライフトランスフォーメーション)

ライフデザインの次のカタチとして、ライフスタイルをトランスフォームしていくという思いを込めてLXと定義しました。LXでは、多様化が進む消費・体験行動に革新をもたらし、ワクワクする未来社会の創造を目指し、メタバース*1・衛星・ドローンを中心とするテクノロジーで新たな体験の価値を創出していきます。
*1 インターネット上に構成される仮想空間



メタバース
について

当社は、地方自治体と連携した「都市連動型メタバース」の発信を通じて、仮想空間と実在都市がともに発展していく新たなまちづくりを目指しています。2020年5月から東京都渋谷区と協業して始まった「バーチャル渋谷」や、2022年2月に大阪府・大阪市との協業により開始した「バーチャル大阪」では、自宅にいながらメタバースに人々が集い、価値ある体験が生まれる場を提供しています。



地域共創 -CATV等-

地域社会が抱える課題に向き合い、当社のアセットを活用して地域共創を実現していきます。また、デジタルデバイドの解消にも取り組んでおり、DXを用いたサービスの提供や、ウィズコロナ時代に求められる「新しい生活様式」において必要不可欠となるオンライン申請、非接触サービスの提供にも寄与していきます。

茨城県つくば市の協力のもと、内閣府から採択された「先端サービスの開発・構築等に関する調査事業」の取り組みを2022年8月から開始しました。2023年度以降のサービス化を目指し、先端技術で地域課題を解決する、つくば市の「スーパーシティ」構想の実現に向けて取り組んでいきます。



スーパーシティ
調査事業について



通信設備のカーボンニュートラル

当社のサステナビリティに関する重要課題（マテリアリティ）の1つに「カーボンニュートラル(CN)の実現」を掲げており、2030年までに当社の事業活動におけるCO₂排出量実質ゼロ*1の実現を目指しています。当社が排出するCO₂は年間109万トンで、携帯電話基地局・通信局舎・データセンターなどの通信設備からの排出がそのうちの98%を占めており、再生可能エネルギー(再エネ)由来の電力への切り替えは大きな課題です。今回は当社の通信設備における取り組みから2例をご紹介します。

*1 Scope1 (直接排出) およびScope2 (間接排出) が対象。

新重要課題(マテリアリティ)

ステークホルダーのエンゲージメント向上

通信を核とした
イノベーションの推進

安心安全で
豊かな社会の実現

カーボンニュートラルの
実現

ガバナンス強化による
グループ経営基盤強化

人財ファースト
企業への変革

提供価値



1

国内通信局舎の使用電力を再エネ由来へ順次切り替え、年間CO₂排出量の約1割を削減

当社は、2022年9月から国内データセンターを含む国内通信局舎の使用電力を、CO₂排出量実質ゼロのカーボンフリープラン*2へ順次切り替えています。2022年度は東名阪エリア6局舎で切り替えを進める予定であり、これにより、当社の年間CO₂排出量の約1割に相当する10万トン超を削減できます。海外のデータセンターにおいては再エネ由来電力への切り替えが先行して進んでおり、欧州においては再エネ100%への切り替えが既に完了しています。今後も国内外の通信設備のCO₂排出量削減を進め、地球環境保全に貢献していきます。

*2 電力会社の電源と環境価値証書をセットにすることで、実質的再エネ100%かつCO₂排出ゼロとみなすことができるプラン。

2

新技術を持つスタートアップとの共創を通じて、基地局のCN実現を加速



当社および社会のCN実現に貢献するため、気候変動に関連する幅広い課題に取り組むスタートアップ企業への出資を行うKDDI Green Partners Fundを2021年11月に設立しました。その第1号案件として、薄くて軽く折り曲げられる「ペロプスカイト太陽電池」の開発を行う株式会社エネコートテクノロジーズへ2022年3月に投資しました。CN実現に向け、太陽光発電設備の導入が求められていますが、平地の少ない日本では太陽光発電設備の適地不足が予想されており、その解決策として、小さい屋根や建物の壁面など、既存技術では発電設備を設置できない場所にも導入できる次世代太陽光電池の開発が期待されています。今後、実用化に向けた実証実験を共同で行い、将来的にはスペースの限られる基地局へのペロプスカイト太陽電池の導入を目指します。



当社のサステナビリティ経営についてはコチラ
「サステナビリティ統合レポート2022」

株主さまアンケートにご回答いただいた方の中から抽選でプレゼントします。アンケートについては裏面をご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症などの影響により、予定している商品の発送ができなくなる(別の商品に変更となる)場合がございます。

1.しまものプロジェクト厳選産品 各50名さま / 計150名さま

離島地域の活性化を応援する「しまものプロジェクト」から、人気産品をプレゼントします。

- ① 小さな島の伝統グルメ
深島みそ&みそ漬け
三味贅沢セット
【深島/大分】



- ② 島豚餃子&鶏飯
島の味が詰まった
あまみやげセット(2食分)
【奄美大島/鹿児島】



- ③ 屋久島産 地魚生ハム
風燻製(3種)&くんせい
生茶漬けの素(2食分)
【屋久島/鹿児島】



2.東北支援復興産品 各50名さま / 計150名さま

震災を風化させることなく、甚大な被害を受けた東北3県を引き続き支援する一環として、各県産品の詰め合わせをご用意しました。

- ① (岩手県)
産品詰め合わせセット
(内容:盛岡冷麺/
前沢牛ラーメンなど計9点)



- ② (福島県)
産品詰め合わせセット
(内容:喜多方ラーメン/
なみえ焼きそばなど計8点)



- ③ (宮城県)
ふかひれセット
(内容:ふかひれ姿煮、ふかひれ
ラーメンなど)



3.C&C 新宿カレーセット 50名さま

たまねぎの甘みとスパイスの辛さで、50年以上愛され続ける人気のカレーセットをプレゼントします。
(8個セット:辛口×2/中辛・マイルド・野菜・東京X・ビーフ・欧風ビーフ各1)



4.瀬戸田「島ごころ」ケーキセット 50名さま

地域共創の取り組みとして「au PAYマーケット」の「せとうち物産展」でお客さまからご好評いただいている、「レモンケーキ」と「ネーブルケーキ」をセットでプレゼントします。
(5個セット:レモンケーキ×3/ネーブルケーキ×2)



5.KDDIオリジナルギフト 50名さま

「パティスリーエドモント」がKDDI向けにオリジナルレシピで特別開発した「オレンジ風味の焼き菓子セット」と、障がいのある社員が活躍する当社の企業内カフェ「café Challenged」の人気商品「コーヒードリップバッグ」をセットにしてプレゼントいたします。



注意事項

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※プレゼントの写真はイメージです。また、都合により内容が変更となる場合がございます。
※アンケートには株主番号の入力欄があります。同封の配当金計算書の右上に記載がございますのでご確認ください。
※ご回答いただいた内容は、統計情報およびプレゼントの発送のほか、株主さま向けの活動充実のためにも使用させていただきます場合がございます。
※プレゼントは2023年1月下旬ごろに発送予定です。長期不在などによりお受け取りできなかった場合、再送はいたしかねます。



DDI (現KDDI) 創業者 稲盛和夫氏の逝去について

京セラ株式会社創業者・名誉会長で、当社最高顧問、日本航空株式会社名誉顧問、公益財団法人稲盛財団創立者の稲盛和夫氏が、2022年8月24日に逝去されました。(享年90歳)

稲盛和夫氏は1984年に電気通信事業の自由化に即応して、当社の前身である第二電電(DDI)を設立。民間企業から通信事業に参入を果たし、携帯電話サービスなどの事業を次々に拡大。2000年にはDDI、KDD、IDOの三社合併を実現し、現在の当社の礎を築きました。

故人の数々の挑戦と多大な功績に、敬意と感謝の意を表し、謹んでご冥福をお祈りするとともに、故人が生前に皆さまより賜りましたご厚誼に対し、心より御礼申し上げます。

株主さまアンケート [アンケート実施期間] 2022年12月2日(金)～12月15日(木)

株主の皆さまの率直なご意見・ご感想をぜひお聞かせください。今後の株主通信制作等の参考にさせていただきます。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com> アクセスコード: **[9433]**

 スマートフォン・携帯電話

右のQRコードをカメラで読み取れば、スマートフォンや携帯電話からもアクセスできます。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



 空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください(タイトル、本文は無記入)。アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

※ 本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズについての詳細 <https://www.link-cc.co.jp/>)

アンケートのお問い合わせ



「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com

表紙について

当社は、2022年11月公開の新海誠監督最新作 映画『すずめの戸締まり』に協賛し、同作品とのコラボレーションCMを公開しております(表紙のイラストは同CMのワンシーンです)。

当社は、auのさまざまなテクノロジーを活用し、パートナーの皆さまとともに地域共創に取り組んでまいりましたが、このたび、本作品の主人公・鈴芽(すずめ)が日本列島の各地を巡り“扉”を閉めていくという物語に込められたメッセージに共感し、地域共創プロジェクト『すずめと旅する日本』を始動しました。

アニメーション・エンターテインメントのチカラと、auのつなぐチカラを掛け合わせ、地域の魅力の再発見に繋がるようなコンテンツの公開等を通じて『地域とともに、おもしろいほうの未来へ。』を体現し、取り組みを推進してまいります。

[「すずめの戸締まり | au」特設サイト ▶](#)



KDDI株式会社

〒102-8460 東京都千代田区飯田橋三丁目10番10号 ガーデンエアタワー

(本店所在地: 東京都新宿区西新宿二丁目3番2号)

<https://www.kddi.com/>



本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
このPDFデータは制作した印刷物に掲載したものです。